

「つなぐ・つむぐ」の基盤となるデジタル戦略

デジタル戦略のコンセプト

デジタル戦略の基本的な考え方は、地域・お客さま接点・行内業務の3つの領域におけるデジタル化です。群馬銀行が今後進めていくさまざまな施策には、この3領域のデジタル化が密接に関わっており、3つの領域のデ

ジタル化を推進することは、群馬銀行の経営戦略を実現していく上で基本となります。また、これらのデジタル化を支える人材の育成も進めていきます。(デジタル人材育成については P42 参照)

「データ利活用の高度化」や組織の変革を進め、3つの領域のデジタル化を推進

1 地域のデジタル化

- 中小企業など地域のデジタル化支援
- 地域のデジタルエコシステム構築 (キャッシュレス、データ流通等)

2 お客さま接点のデジタル化

- デジタルを活用した新たな顧客体験
- 全ての取引をデジタルで完結
- 生活に溶け込む金融サービス提供

3 行内業務のデジタル化

- 各種情報・データを可視化し、経営や行員の判断・行動に反映
- ペーパーレス化、定型業務の自動化

デジタル化の推進は、全ての戦略テーマを効果的に進める上で不可欠

営業プロセス改革	デジタルツールによるコミュニケーション 営業活動のコンピテンシー分析
業務プロセス改革	データドリブンな意思決定 ペーパーレス・印鑑レス推進
チャネル改革	デジタルチャネル拡充(アプリ等) データ活用によるチャネル連携強化
人材改革	デジタル人材育成 データを活用したタレントマネジメント
外部連携改革	アライアンスによるデジタル力の強化 API基盤を活用した外部連携

地域のサステナビリティ	産官学と連携した地域のデジタル化
企業への金融・本業・承継支援	地域の中小企業向けデジタル化支援
個人へのコンサルティング	One to Oneマーケティング※の実践 データに基づく対面での最適な提案
グループ総合力	デジタル分野の新事業探索 地域エコシステム構築に向けた取組み
当行の経営体質強化	システムの最適化 サイバーセキュリティの強化

※データ基盤の整備により、一人ひとりのお客さまに最適な価値を提案・提供すること

地域のデジタル化

中小企業など、地域のお客さまの業務効率化に資するコミュニケーションツール、グループウェア、会計・勤怠・給与計算ソフトの導入支援や IT コンサルティングなどにより、お客さまのデジタル化をさまざまな面から支援します。

また地域のキャッシュレス化や、決済データを活用した広告や送客など新たな価値を創造し、地域のデジタルエコシステムの構築も進めてまいります。

行内業務のデジタル化

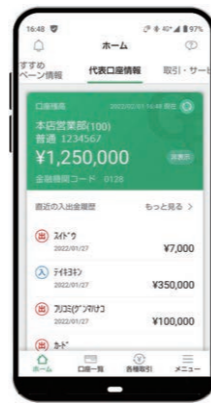
2021年1月より行外でも行内と同様の環境で業務を行えるモバイルパソコンを導入しました。また2021年8月には Office365 を導入し、従来は対面や電話、紙が主流であった行内外のやり取りをチャットや WEB 会議に置き換え、場所や時間にとらわれずに業務が行えるようになりました。

今後もペーパーレス化の推進や RPA による業務自動化、営業店事務の集中化など、さらなる業務効率化・ワークスタイル変革に努めてまいります。

お客さま接点のデジタル化

群馬銀行とお客さまとの最も身近な接点として、2022年4月に「ぐんぎんアプリ」の提供を開始しました。今後も税金公金収納や、投資信託取引、諸届など、お客さまの利便性向上につながるような機能追加や改善を継続的に実施してまいります。

また、当行ホームページのリニューアルや法人のお客さま向けのポータルサイト構築、住宅ローン手続きのデジタル化、店頭タブレットの導入など、さまざまな分野におけるお客さま接点のデジタル化の取組みを進めてまいります。



ぐんぎんアプリ
2022年4月
提供開始

各戦略テーマのベースとなるデジタル化を推進することで「つなぐ」力を高め、未来をつむいでいきます

デジタル戦略の実現に向けたロードマップ



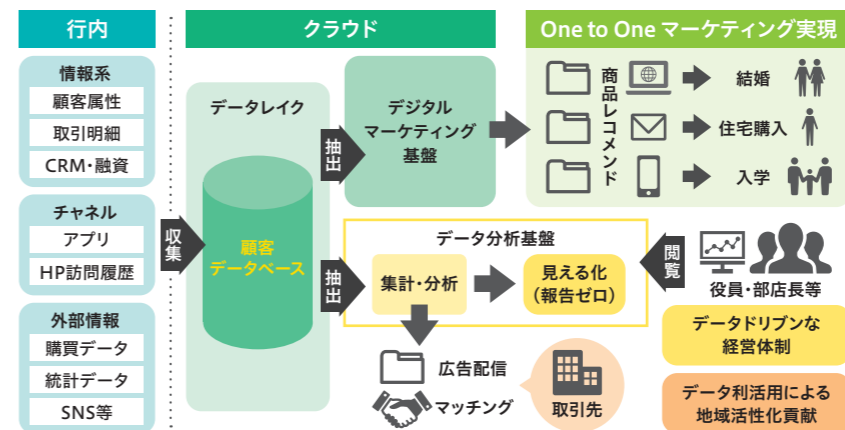
特集 データ利活用の高度化

データ利活用の必要性

当行は、お客さまの取引履歴など膨大なデータを蓄積・保管しています。これらのデータを分析することで、お客さまが真に求めている商品や資金ニーズなど、さまざまな気づきを得ることができます。データを収集、蓄積、分析し、課題解決・価値創出につなげるデータサイクルの構築を図るなど、データ利活用の高度化に向けた取組みを進めています。

データレイクによるデジタルマーケティング基盤の構築

データ利活用の高度化には、3つの基盤が必要だと考えています。セキュリティを確保したクラウド上に、お客さまの取引履歴などのデータや、SNS等の外部データを蓄積できるデータ蓄積収集基盤(データレイク)、データレイクに蓄積されたデータを活用し、お客さまにとって最適な商品・サービスを、最適なタイミングでお届けするデジタルマーケティング基盤、そして、情報を容易に抽出、分析できるデータ分析基盤です。これらの基盤を構築し、データに基づいた経営判断や、各種報告事務の削減などに取組んでいきます。



データ利活用で地域の未来をつなぐ

データ利活用によりデータを価値ある情報に変え、お客さまに最適な情報をお届けするなど、銀行とのつながりを一層強化するとともに、地域内のキャッシュレス化を推進し決済データ等を活用することで、地域経済の好循環を図りながら地域の活性化に貢献してまいりたいと考えております。

1 群馬銀行について

2 パーパスを実現するための戦略

3 パーパスの実現を支える経営基盤